

7チームが参加し交流大会 久米島メモリアルカップ

日台国際野球大会の代替大会として「2021日本リトルシニア中学硬式野球全国交流大会久米島メモリアルカップ」が12月26日～28日に、北海道連盟、東北連盟、関東連盟5支部の選抜7チームが参加し開催されました。リトルシニアは、中学生を対象にした硬式野球チームです。各チーム激闘の末、優勝に東関東選抜チーム、準優勝に東北選抜チームが輝きました。



久米島の海洋深層水 日本観光特産大賞金賞受賞

観光文化協会が主催する「日本観光特産大賞2021」において、日本観光特産大賞の金賞「ニューウェーブ賞」に「久米島の海洋深層水」が選ばれました。今回の受賞は新たな市場を創造した商品に贈られる賞で、海洋深層水の「清浄性」「富栄養性」「低温安定性」の3つの特色を活用したさまざまな分野での産業の振興や地域資源を活かした新たな町づくりという点を評価していただき受賞となりました。受賞後は海洋深層水を活用した商品のパッケージ等に金賞のロゴマークが使用できるようになり、さらなる地域の活性化を目指します。



「屋根の工事」

じーも
天島です



こんにちは！島コソンの矢島です。今回は、昨年末に空家活用の研修で訪れた奄美大島でのお話しをさせていただきます。

奄美大島では、以前から「NPO法人あまみ空き家ラボ」さんが地域の空き家を再生したり規格型住宅を建築したりして、奄美大島の過疎集落へ移住者の住居や体験ハウスなどを誘致、運営して地域の方々といっしょに空き家を活用している先進的な取り組みを行っておりその研修に行ってきました。

私が初めて訪れた奄美大島で久米島や沖縄と違うなと思ったのは、文化圏の違いです。気候や植物などは久米島と大きく変わらないのですが、家の建て方やお墓、仏壇などは、薩摩文化を継承している感が大きかったです。

そんな中で家の構造の違いが面白かったのですが、一番違うと感じたのは、屋根が瓦ではないことです。大半の屋根はトタンで葺かれています。トタン屋根以前はどのような屋根材が多かったのか聞いたところ、以前は藁葺きだったそうです。

瓦の重さとムーチーで（台風の雨風で）屋根が飛ばされないように考えた

のが沖縄の家ならば、屋根が飛んでも簡単に修繕ができることを考えたのが奄美の家なのかなと思います。

しかし、実際台風の被害等を聞いてみると、意外に台風でトタン屋根が飛んだというのはあまりないみたいで、強烈な台風の時に被害がでる程度のことでもこれ驚きでした。

また、屋根材が軽量なため、シロアリや腐食で多少構造が弱くなっても、屋根の重みで崩れることも少ないのだろうと想像します。実際、いくつか空き家を案内してもらったのですが、屋根がだめになっている空き家が少なかったのも印象的でした！

家を修繕する上で、屋根の修繕になると費用も労力もかかるのが一般的なのですが、軽量のトタンで対応できるなら、太い梁など必要なくなるので、安価に早く改修することが出来ると思います。もし久米島でも活用できるなら、空き家の改修方法の一つとして活用してみるべきなのではと考えます。

※2月の空き家活用相談は、コロナウイルス感染症対策もあり、まずはお電話で問合せください。

お問い合わせ先 場所: コワーキングスペース仲原家 (字真謝20番地) ☎894-6488 info@shimagurashi.net